

令和8年度当初予算のポイント・主要事業

1 予算調製にあたっての基本的な考え方

令和8年度は、全国的に増加している旅行需要を県内に着実に取り込むため、国内外の旅行者から選ばれる三重県を目指し、持続可能な観光地づくりやインバウンド誘客をはじめとした戦略的な観光誘客に取り組みます。

本県における日本人延べ宿泊者数は、コロナ禍前の水準を上回り順調に増加するなか、外国人延べ宿泊者数については、回復の兆しが現れ始めているもののコロナ禍前まで回復していない状況にあります。

そこで、インバウンドをはじめとした旅行者が安心・安全かつ快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化等の取組の支援や高付加価値旅行者向けの上質な宿泊施設の立地促進、高付加価値旅行者のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成等に取り組むとともに、滞在型周遊観光やガストロノミーツーリズムの推進に取り組むほか、観光事業者の生産性向上や人材確保の取組を支援することにより「持続可能な観光地づくりに向けた受入環境の充実」に取り組みます。

また、インバウンド誘客を強力に展開するため、データに基づいた「みえインバウンド誘客計画（仮称）」の策定に取り組むとともに、本県の認知度向上やゴールデンルート及び関西圏からの誘客に向けたプロモーションの強化、高付加価値旅行者の誘客など「戦略的なインバウンド誘客の推進」に取り組みます。

さらに、首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向けたプロモーションや県内の周遊促進に取り組むとともに、第63回神宮式年遷宮を契機とした取組を推進するなど「国内誘客プロモーションの推進」に取り組みます。

2 主な重点項目

（1）持続可能な観光地づくりに向けた受入環境の充実

国内外の旅行者が安心・安全かつ快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化や観光防災対応等への取組を支援するとともに、小規模ホテルを含めた上質な宿泊施設の立地促進や、バリアフリー観光の推進、高付加価値旅行者のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成、観光地での災害に備えた旅行者向け啓発の多言語化等に取り組みます。

また、全県DMO（観光地域づくり法人）である（公社）三重県観光連盟の基盤強化を通じて地域DMO支援等に取り組みます。

さらに、三重ならではの観光資源を生かした滞在型周遊観光を推進するため、広域のブランディングやストーリー性のある周遊ルートの造成に取り組むとともに、ガストロノミーツーリズムの推進に向け、食に関するコンテンツの磨き上げ等に取り組みます。

加えて、観光事業者の生産性向上や人材確保・育成・定着の取組を支援します。

《主な事業》

- | | | |
|------------------------|---------------|-------------------|
| ① (一部新) 観光客受入環境整備事業 | 予算額 26,808千円 | [観光振興課(224)3116] |
| | (626,088千円) | ※R7年度2月補正予算含みベース) |
| ② (一部新) 全県DMO経営基盤強化事業 | 予算額 195,212千円 | [観光振興課(224)3116] |
| ③ (一部新) 拠点滞在型観光推進事業 | 予算額 47,264千円 | [観光振興課(224)3116] |
| | (52,258千円) | ※R7年度2月補正予算含みベース) |
| ④ (一部新) 安心・安全な観光地づくり事業 | 予算額 5,000千円 | [観光戦略課(224)3115] |
| ⑤ (一部新) 観光産業支援事業 | 予算額 41,956千円 | [観光戦略課(224)3115] |

(2) 戦略的なインバウンド誘客の推進

全国的に増加するインバウンドを本県への誘客に着実につなげるため、データに基づいた「みえインバウンド誘客計画（仮称）」の策定に取り組むとともに、本県の認知度向上を図るため、動画の作成やトップインフルエンサーの発信力を活用した情報発信、観光・食・物産が一体となったプロモーションを展開するほか、ゴールデンルート及び関西圏からの誘客促進に向けて、海外OTAの活用や鉄道事業者と連携した観光地とアクセス情報をセットにした情報発信に取り組みます。

また、高付加価値旅行者の誘客を推進するため、フランス企業等の福利厚生旅行の誘致や、レップ（営業代理人）の設置・拡充、奈良県及び和歌山県等と連携した広域でのプロモーションに取り組みます。

さらに、県内経済への波及効果の高い国際会議をはじめとしたMICEや海外企業による報奨旅行・研修旅行の誘致促進に取り組みます。

《主な事業》

- | | | |
|-------------------------|---------------|-------------------|
| ① (一部新) 海外誘客推進プロジェクト事業 | 予算額 101,174千円 | [海外誘客課(224)2847] |
| ② (一部新) プラス三重旅促進事業 | 予算額 40,000千円 | [海外誘客課(224)2847] |
| ③ (一部新) 高付加価値旅行者層誘致促進事業 | 予算額 130,180千円 | [海外誘客課(224)2847] |
| | (170,180千円) | ※R7年度2月補正予算含みベース) |
| ④ 海外MICE誘致促進事業 | 予算額 28,814千円 | [海外誘客課(224)2847] |
| ⑤ (一部新) 産業観光推進事業 | 予算額 15,948千円 | [海外誘客課(224)2847] |
| ⑥ (一部新) 観光データ調査事業 | 予算額 64,111千円 | [観光戦略課(224)3115] |

(3) 国内誘客プロモーションの推進

首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNSやテレビ等のメディアを通じた情報発信、観光情報説明会など多様な手段を活用し、効果的に三重の魅力を発信します。

また、県内への誘客及び周遊を促進するため、株式会社ポケモンと連携したキャンペーンや映画・ドラマ等のロケ地情報に関するプロモーションに関係機関と連携して取り組むほか、教育旅行の誘致促進に取り組みます。

さらに、第63回神宮式年遷宮を契機に、本県への関心を高めるため、お木曳行事を題材とした大都市圏向けの観光プロモーションを実施するなど、市町や事業者等と連携した取組を推進します。

《主な事業》

- ① (一部新) 大都市圏プロモーション事業 予算額 137,402千円 [観光誘客推進課(224)2802]
- ② 県内周遊促進事業 予算額 63,538千円 [観光誘客推進課(224)2802]
- ③ (一部新) 観光客受入環境整備事業(再掲) 予算額 26,808千円 [観光振興課(224)3116]
(626,088千円 ※R7年度2月補正予算含みベース)
- ④ (一部新) 抱点滞在型観光推進事業(一部再掲) 予算額 46,673千円 [観光振興課(224)3116]

令和8年度 観光部関係当初予算総括表

単位: 千円

区分	令和7年度 当初予算額 (A)	令和8年度 当初予算額 (B)	前年度 比較増減 (B-A)	B/A
一般会計	(2,407,305) 2,302,908	(2,462,550) 1,818,276	(55,245) △484,632	(102.3%) 79.0%
商工費	(2,407,305) 2,302,908	(2,462,550) 1,818,276	(55,245) △484,632	(102.3%) 79.0%

・上段()書きは2月補正予算を含んだ額

国内外の旅行者が安心・安全かつ快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化等の取組への支援や上質な宿泊施設の誘致に取り組むとともに、高付加価値旅行者のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成等に取り組みます。また、（公社）三重県観光連盟の基盤強化を通じて地域DMO支援等に取り組むほか、三重ならではの観光資源を生かした滞在型周遊観光やガストロノミーツーリズムを推進します。さらに、観光事業者の生産性向上や人材確保の取組を支援します。

（1）旅行者を受け入れる環境の充実

①（一部新）観光客受入環境整備事業 626,088千円

（※R7年度2月補正予算含みベース）

- ・宿泊施設の和洋室化や案内表示の多言語化、観光防災対応にかかる整備、熊野古道伊勢路沿線トイレの環境整備等への支援
- ・宿泊施設の開発事業者等による視察対応など上質な宿泊施設の誘致に向けた取組の実施
- ・高付加価値旅行者のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成
- ・「観光施設における心のバリアフリー認定」の取得促進やバリアフリーに配慮した旅行商品造成に向けた取組の実施

※上記の取組に加え、「上質な『みえ旅』宿泊施設立地補助金」の制度拡充により、小規模ホテルを含む上質な宿泊施設の立地を促進



宿泊施設の和洋室化

②（一部新）安心・安全な観光地づくり事業 5,000千円

- ・災害時の対応や情報収集の方法等を旅行者に向け多言語で啓発

（2）DMOを中心とした持続可能な観光地マネジメントの確立

③（一部新）全県DMO経営基盤強化事業 195,212千円

- ・全県DMOである（公社）三重県観光連盟が観光地経営の司令塔としての役割を担い、地域DMOへの支援等を着実に実施するための基盤強化
- ・（公社）三重県観光連盟が官民連携で取り組む国内外向けプロモーションやデータマーケティングを支援

（3）三重ならではの観光資源を生かした 滞在型周遊観光・ガストロノミーツーリズムの推進

④（一部新）拠点滞在型観光推進事業 52,258千円

（※R7年度2月補正予算含みベース）

- ・お伊勢参りの歴史・文化をふまえた広域のプランディング
- ・歴史街道や伊勢西国三十三所観音巡礼、庭園等の観光資源を組み合わせたストーリー性のある周遊ルートの造成
- ・食に関するコンテンツの磨き上げや情報発信などガストロノミーツーリズムの推進



庭園（菰野町）



海女小屋体験施設（志摩市）

（4）観光産業の生産性向上・人材確保

⑤（一部新）観光産業支援事業 41,956千円

- ・個別コンサルティングやワークショップ等を通じて観光事業者の生産性向上、人材確保・育成・定着に向けた取組を支援
- ・人手・人材不足等により生産性向上等に取り組める環境にない事業者への対応として、採用・経理・労務などの業務の外注化を支援



観光事業者向けワークショップ

戦略的なインバウンド誘客の推進

インバウンド誘客を強力に展開するため、データに基づいた「みえインバウンド誘客計画（仮称）」の策定に取り組むとともに、本県の認知度向上に向け、トップインフルエンサーの発信力を活用した情報発信や観光・食・物産が一体となったプロモーションを実施するほか、ゴールデンルート及び関西圏からの誘客に取り組みます。また、レップの設置・拡充や奈良県・和歌山県等と連携した広域での高付加価値旅行者の誘客に取り組みます。

（1）インバウンド誘客に向けた計画策定

① 海外誘客推進プロジェクト事業 998千円（一部）

- ・データに基づき本県の強み・弱み等を分析し、有識者の意見等もふまえ「みえインバウンド誘客計画（仮称）」を策定

（2）データマーケティングの充実

②（一部新）観光データ調査事業 64,111千円

- ・県内宿泊施設の受け入れ状況や、旅行者の属性、県内での立ち寄り場所等のデータを取得・収集
- ・データに基づいた次期三重県観光振興基本計画の策定

（3）インバウンドプロモーションの推進

③（一部新）海外誘客推進プロジェクト事業

100,176千円（一部）

- ・本県の認知度向上に向け、インバウンドが関心を寄せる体験コンテンツ等の紹介動画の作成やトップインフルエンサーの発信力を活用した情報発信
- ・現地飲食店と連携した情報発信など
観光・食・物産が一体となったプロモーションの実施
- ・旅行会社や国内ランドオペレーターを対象にしたセミナー、ファムトリップ等の実施



インフルエンサーによる県内視察（鳥羽市）

④（一部新）プラス三重旅促進事業 40,000千円

- ・ゴールデンルート及び関西圏からの誘客を促進するため、海外O T Aを活用した情報発信及び県内事業者の登録支援
- ・鉄道事業者と連携し、観光地とアクセス情報をセットにしたプロモーションの実施

（4）高付加価値旅行者の誘客促進

⑤（一部新）高付加価値旅行者層誘致促進事業 170,180千円

（※R7年度2月補正予算含みベース）

- ・フランス企業等の福利厚生旅行の誘致に向けた、観光セミナー・ファムトリップの実施
- ・レップ（営業代理人）の設置・拡充
- ・奈良県、和歌山県等と連携した広域でのプロモーションの実施



福利厚生旅行の送客に係るMOU締結式



海外の旅行会社による県内視察（関宿）

（5）MICE・産業観光の推進

⑥ 海外MICE誘致促進事業 28,814千円

- ・レップによるセールスや商談会への出展、ファムトリップ、補助金の活用等による国際会議などのM I C E 誘致



伝統工芸品（伊勢木綿）工場の視察

⑦（一部新）産業観光推進事業

15,948千円

- ・三重県産業観光推進協議会と連携し、産業観光の促進に向けたプロモーションや視察受入企業の裾野拡大
- ・海外セールスのフォローアップを通じた海外企業による報奨旅行・研修旅行の誘致促進

首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNSやテレビ等のメディアを通じた情報発信、観光情報説明会など多様な手段を活用した効果的な観光プロモーションに取り組みます。

また、第63回神宮式年遷宮に向けて、お木曳行事など諸行事が行われることから、来訪者をおもてなしし、取組の効果が全県に波及するよう、市町や事業者等と連携した本県の魅力発信や受入環境の充実に取り組みます。

(1) 大都市圏における観光プロモーションの推進

① 大都市圏プロモーション事業 102,274千円 (一部)

- ・首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNSやテレビ等のメディアを通じた情報発信、観光情報説明会など、多様な手段を活用することによる効果的な三重の魅力の発信



みえ旅レセプション2025



(2) 県内への誘客・周遊の促進

② 県内周遊促進事業 63,538千円

- ・株式会社ポケモンと連携したキャンペーンや、映画・ドラマ等のロケ地情報に関するプロモーションの実施
- ・平日の観光需要喚起や県内への再訪が見込める将来のリピーター獲得につなげるため、県外からの教育旅行誘致に向けた目的地としての魅力のPR



「三重県×ミクニマル」ロゴマーク

©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの商標です。

(3) 第63回神宮式年遷宮を契機とした取組

③ (一部新) 大都市圏プロモーション事業

35,128千円 (一部)

- ・第63回神宮式年遷宮を契機に本県への関心を高めるため、お木曳行事を題材とした大都市圏向けの観光プロモーションの実施

④ (一部新) 観光客受入環境整備事業

626,088千円 (再掲)

(※R7年度2月補正予算含みベース)

- ・市町や事業者等で構成される「いせしませんぐう旅実行委員会」に参画し、機運醸成や受入環境の充実、プロモーションの推進
- ・国内外の旅行者が安心・安全かつ快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化等への支援



「いせしませんぐう旅」ロゴマーク

⑤ (一部新) 抱点滞在型観光推進事業

46,673千円 (一部再掲)

- ・お伊勢参りの歴史・文化をふまえた広域のブランディング
- ・歴史街道や伊勢西国三十三所観音巡礼、庭園等の観光資源を組み合わせたストーリー性のある周遊ルートの造成
- ・食に関するコンテンツの磨き上げや情報発信などガストロノミーツーリズムの推進

3 その他の主要事業

政策名・施策名及び事業の内容	担当課・電話番号
<p>《政策名：観光・魅力発信》 〈施策名：（5-2）戦略的な観光誘客〉</p> <p>1 海外プロモーション推進事業 41,817千円 【(5-2-3)インバウンドの誘客】 (第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費) J N T O (日本政府観光局) や広域連携DMO、近隣府県、県内観光事業者等と連携し、本県の認知度を高め、インバウンド誘客を図るため、海外での旅行博覧会出展、商談会の開催、県内へのメディアや旅行会社の招請等に取り組みます。</p>	海外誘客課 (059-224-2847)
<p>2 日台観光交流推進事業 5,896千円 【(5-2-3)インバウンドの誘客】 (第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費) 台湾との観光交流をさらに発展させ、将来の県内への誘客につなげるため、新北市及び高雄市を中心に教育旅行の誘致を図るとともに、新北市との交流に取り組みます。</p>	海外誘客課 (059-224-2847)
<p>《政策名：農林水産業》 〈施策名：（6-4）農山漁村の振興〉</p> <p>3 農泊の推進・レベルアップ事業 7,262千円 【(6-4-1)人や産業が元気な農山漁村づくり】 (第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費) 農山漁村ならではの「食」、「泊」、「体験」を楽しむ「農泊」の取組を加速推進するため、新たな需要の獲得に向け、農泊の持つ癒し効果を活用した体験プログラムを企業の福利厚生や研修の場等としての利用の促進について、企業と連携して取り組みます。</p>	農山漁村づくり 課 (059-224-2551)
<p>4 農山漁村インバウンド受入加速化事業 5,600千円 【(6-4-1)人や産業が元気な農山漁村づくり】 (第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費) 農山漁村への訪日外国人旅行者の受入拡大と滞在消費の拡大を図るため、人と自然が織りなす「美し国みえ」のイメージを体現する農泊コンテンツを創出するとともに、農泊地域などへのインターナンシップの取組を通じて、農泊に取り組む担い手の創出につなげます。</p>	農山漁村づくり 課 (059-224-2551)
<p>《政策名：福祉》 〈施策名：（13-1）地域福祉の推進〉</p> <p>5 ユニバーサルデザインタクシー導入推進事業 11,700千円 【(13-1-4)ユニバーサルデザインのまちづくりの推進】 (第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費) 車いす利用者や高齢者など誰もが安全で円滑に移動できるよう、車いすに乗ったまま乗り降りできる機能等を備えたUDタクシーを導入する事業者に対して、購入費用の一部を補助します。</p>	家庭福祉・施設整備課 (059-224-2271)